

プレス公表（運転保守状況）

2020年11月12日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	2018年 11月1日 11月16日 11月21日 11月30日 12月13日  2019年 1月28日 8月8日  2020年 10月22日	—	荒浜側立坑付近のケーブル洞道内の火災について（区分：I）	<p><b>【発生状況】</b>                      2018年11月1日午前6時28分頃、荒浜側立坑内において、発煙が確認されたため、午前6時31分に119番通報を実施しました。                      なお、現場（荒浜側立坑入口から南側に約70m地点）では炎は確認されておらず、消火活動等は行っておりません。公設消防による現場確認の結果、午前8時45分に「鎮火」確認、午前9時に「火災」と判断されました。本火災によるプラントへの影響はありません。</p> <p><b>【対応状況】</b>                      3つの問題点（火災発生、自治体および報道機関への情報連絡遅れ、柏崎市消防との情報共有に関わる課題）に関して調査を行い、それぞれの問題点について原因と対策を取りまとめました。                       当所は、これらの再発防止対策を徹底するとともに継続的な改善に取り組み、火災の未然防止と情報共有を含めた火災時の対応能力向上に努めてまいります。</p> <p><b>【その後の対応状況】</b>                      火災の原因となったケーブル外装（シース）のシュリンクバック現象※への対策として、直線接続部両端のシースをブラケット（固定治具）で固定する対策を進めてまいりました。                      充電中の直線接続部へのブラケット固定は、2019年度内に完了しております。                      非充電の直線接続部へのブラケット固定は、2020年度内に完了する計画でしたが、対策を進める中で、一部ケーブル内部の遮へい銅テープに亀裂が確認されたことから、工事工程を見直し、2021年内に対策を完了させるよう計画的に工事を進めてまいります。</p> <p>※ シュリンクバック現象                      ケーブルには絶縁体や遮へい銅テープを保護するための外装（シース）があり、ケーブル製造時に、シースを高温軟化させ、被覆している。そのシースが、ケーブルへの負荷電流による発熱や、昼夜・季節の変化による温度差によって収縮する現象。</p> <p style="text-align: right;">（2020年10月22日までにお知らせ済み）</p>

プレス公表（運転保守状況）

2020年11月12日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
②	2020年 10月6日 10月7日	6号機	非常用ディーゼル発電機の定例試験中の不具合について（区分：Ⅲ）	<p><b>【事象の発生】</b>                      2020年10月5日午前10時30分頃、6号機原子炉建屋（非管理区域）において、非常用ディーゼル発電機※<sup>1</sup>（A）を定例試験のために起動し、系統電源との並列操作を実施していたところ、並列操作ができないことを確認しました。その後、調査のため午前11時1分に手動停止しました。</p> <p>当該非常用ディーゼル発電機本体には異常がないことを確認していますが、調査の結果、定例試験など当該非常用ディーゼル発電機を手動で並列する際に使用する同期検出回路※<sup>2</sup>内補助リレーに導通不良があると判断しました。</p> <p>10月6日午後7時22分、導通不良が確認された同期検出回路内補助リレーを交換し、10月7日午前11時51分に定例試験が完了しました。その結果、手動での並列操作に問題はなく、不具合を解消しております。</p> <p>今後、不具合のあった同期検出回路内補助リレーの詳細調査を実施する予定です。</p> <p>※1 非常用ディーゼル発電機                      所内電源喪失時に所内へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機</p> <p>※2 同期検出回路                      非常用ディーゼル発電機の周波数および電圧、位相を系統側と合わせる回路</p> <p style="text-align: right;">（2020年10月7日までにお知らせ済み）</p> <p><b>【対応状況】</b>                      現在、不具合のあった同期検出回路内補助リレーについては、当社の経営技術戦略研究所において詳細調査を進めているところです。</p>
③	2020年 10月9日	7号機	大物搬入建屋におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）	—

プレス公表（運転保守状況）

2020年11月12日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
④	2020年 10月26日	7号機	タービン建屋大物搬入口から搬出したドラム缶の構内運搬に係る不適合について（区分：その他）	<p><b>【事象の発生】</b>                      2020年10月22日に実施した7号機タービン建屋大物搬入口から固体廃棄物貯蔵庫へのドラム缶<sup>※1</sup>の構内運搬に際して、運搬記録では物品の移動に関する線量当量率<sup>※2</sup>の基準を超えた値が記載されていたが、運搬していたことを10月23日に確認しました。</p> <p>当該ドラム缶については、当日速やかに線量当量率の再測定を行ったところ、実際には同基準値を下回っており、放射線安全上の影響はなかったことを確認しましたが、保安規定遵守のための品質管理上の問題があったと考えております。なお、外部への放射性物質の影響はありません。</p> <p>※1 ドラム缶：低レベル放射性廃棄物を封入する缶                      当該ドラム缶には7号機原子炉内の清掃で発生した鋼材等を封入</p> <p>※2 線量当量率：その場所における単位時間当たりの放射線量の値</p> <p style="text-align: right;">（2020年10月26日にお知らせ済み）</p> <p><b>【対応状況】</b>  <u>暫定対策として、構内運搬にかかる手順書の再確認および運搬前の確認方法を多重化した上で、11月2日から作業を再開しています。</u>  <u>なお、本件の原因と対策については、引き続き検討を進めているところです。</u></p>

プレス公表（運転保守状況）

2020年11月12日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
⑤	2020年 11月9日	—	発電所構内（屋外）におけるホース 展張車からの油漏れについて （区分：Ⅲ）	<p><b>【事象の発生】</b>                      2020年11月9日午前11時15分頃、発電所構内（屋外）荒浜側資機材置き場において、当社社員が訓練のため使用していたホース展張車<sup>※</sup>から霧状に作動油が漏れていることを確認しました。車両のエンジンを直ぐに停止し、油の漏えいは止まっております。                      なお、漏れ出た油の量は、約13リットルと推定しており、午後0時50分までに油吸着マットおよび中和剤にて処理を行っております。                      また、漏れ出た油が側溝を経由して、排水口から海洋へ流れ出た可能性はありますが、その量はわずかであったと推定しており、環境への影響はないものと考えております。</p> <p>※ホース展張車：貯水池から原子炉建屋等への注水に使用する送水用ホースを格納するコンテナを搬送するための専用車両</p> <p><b>【対応状況】</b>                      今後、ホース展張車より油が漏れた原因について調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（2020年11月9日にお知らせ済み）</p>